

十
口



十
云

ム
能

開

目
撃

事

記

「古事記」より
イザナギの冥界下り
天岩戸
八岐大蛇

【脚本・演出・出演】
安田登
深野神楽保存会

【出演】
ヲノサトル
奥津健太郎
玉川奈々福
いとうせいこう
実験道場 ほか

題字・画：©中川学

2020

3/1^日
[14:00開演]

島根県民会館中ホール

わたしたちが生きている世界はどのようにできたのか。そして、私たちはどのように生まれたのか。それを古代の人たちは神話という形で残しました。「古事記」や「日本書紀」、あるいは「風土記」などのように文字としても残しましたし、神話のように身体表現としても残しました。今回の催しは世界が生まれる瞬間（開闢）から八岐大蛇退治までを、深野神楽保存会（雲南市）の皆さまと島根の子どもたち、そして能や人形劇などとの共演で行います。一部は能の語りと人形劇による「イザナギの冥界下り」、二部は深野神楽保存会による「磐戸（天岩戸）」、そして三部は両者のコラボレーションによる上演となります。詞章制作（一部）とラップにいうせいこう、語りに玉川奈々福（浪曲師）、ダンス指導と出演に実験道場も参加するというジャンルを超えた作品になります。

古事記 神能開闢

今回の上演は「古事記」世界の開闢 一安田登

あらすじ

天と地が分かれたときに生まれたさまざまな神々。その最後に生まれた男神イザナギ神と女神イザナミ神。しかし、女神イザナミ神は、火の神を生んだことによって体が焼かれて黄泉の国に行かれてしまった。妻を追って冥界に向かうイザナギ。そこで変わり果てた妻の姿を見たイザナギは冥界からやっとの思いで逃げ帰る（「イザナギの冥界下り」）。

黄泉の穢れを祓う禊で生まれた三神。そのひとり、スサノオ命の暴虐に姉、天照大神は岩戸の中に姿を隠してしまう。暗闇になってしまった世界に光を取り戻すため八百万の神たちが考えたのがアメノウズメ命の舞と天手力男神の力技（「磐戸（天岩戸）」）。

岩戸から出て来た天照大神と八百万の神々はスサノオを高天原から追放する。地上に降り立ったスサノオは斐伊川の上流で簀を見つけ、それによってオロチを退治してクシナダ姫の命を助ける（「八戸（八岐大蛇）」）。



ヲノサトル



山下昇平



いとうせいこう



藤原佳奈



奥津健太郎



玉川奈々福



Junko☆



TAKEchan



RYUTA



よしき先生

【脚本・演出・出演】

安田登
深野神楽保存会

【出演・スタッフ】

ヲノサトル
(音楽家/楽曲制作・シンセサイザー)
山下昇平
(美術・造形作家/美術監修)
いとうせいこう
(俳優・小説家/詞章制作・ラップ)
藤原佳奈(演劇家/脚本・演出助手)
奥津健太郎(能楽師狂言方)
玉川奈々福(浪曲師)
Junko☆(ダンサー「実験道場」)
TAKEchan(ダンサー「実験道場」)
RYUTA(ダンサー「実験道場」)
よしき先生(ダンサー「実験道場」)
森山雅之(太鼓)
川上彩子(笙)
大智智
大島淑夫
金沢霞
榊原有美
地元小中学生(公募ダンサー)
題字・画：◎中川学



安田 登

能楽師下掛宝生流ワキ方。国内外を問わず舞台で活躍する傍ら、小学生から大学生までの創作能や特別授業などのワークショップ、能を基本にした朗読や新しい演劇の創作、演出等も手がけ、様々な分野のアーティストや文化人との交流の場を創造している。



深野神楽保存会

弘化3年(1847年)の神能記が残されており、かなり古い時代から舞われていたと考えられるが、大正前期に一旦その姿を消してしまう。昭和61年に新たな深野神楽保存会を結成し、以来、精力的に活動を続ける。アメリカジャパヌウィーク参加、2回のタイ公演と、出雲文化を海外に紹介する役目も果たし、近年はジャズや朗読劇などの他ジャンルとのコラボレーションにも挑戦。平成15年に立ち上げた深野神楽こども教室の卒業生も加わり、会員数は21名を数える。

2020

3/1

[14:00開演]

開場は30分前/
上演時間約2時間30分(途中休憩含む)

島根県民会館中ホール

全席自由席/チケット発売日:1月11日(土)

一般:前売2,000円/当日2,500円
小中高生:前売1,500円/当日2,000円

未就学児のご入場はご遠慮ください。無料託児サービスをご利用ください。(要申込・2/23締切)

チケットプレイガイド

【松江】島根県民会館チケットコーナー/
プラバホール/今井書店グループセンター店
【出雲】今井書店出雲店
【米子】アルテプラザ(米子天満屋4F)
【オンライン】島根県民会館オンラインチケッ
ケット「シマチケ」

アクセス・駐車場

JR松江駅よりバス約10分(「県民会館前」下車)/県民会館有料駐車場・タイムズ
一畑殿町駐車場(立体)・大手前駐車場ご利用の方は、3時間相当の割引サービス
あり/土・日・祝は、近隣の県庁駐車場が開放されます。

主催:公益財団法人しまね文化振興財団(島根県民会館)、島根県
補助・助成:文化庁、(一財)地域創造
協力:(公社)全国公立文化施設協会、(一社)日本障害者舞台芸術協働機構(JDPA)
後援:島根県教育委員会、松江市教育委員会、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、
産経新聞社、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、日本経済新聞社松江支局、新日本海新聞社、
共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK山陰中央
テレビ、エフエム山陰、島根県ケーブルテレビ協議会

お問い合わせ・託児申込

島根県民会館チケットコーナー
TEL.0852-22-5556
※第2・4月曜休館(祝日の場合は翌火曜
日休館)/営業時間10時~18時